

# じゅしゅう

## 親鸞聖人御誕生八五〇年・ 立教開宗八〇〇年についての消息

来る二〇二三年には、宗祖親鸞聖人のご誕生八五〇年、また、その翌年には立教開宗八〇〇年にあたる記念すべき年をお迎えするにあたり、二〇二三年に慶讃法要をお勤めいたします。

親鸞聖人は承安三年・一一七三年にご誕生となり、御年九歳で出家得度され、比叡山で修行を重ねられました。二十九歳の折、山を下りて法然聖人の御弟子となられ、阿彌陀如来の本願念仏の世界に入られました。その後、専修念仏停止によって越後にご流罪になられ、赦免の後は関東に赴かれて他力念仏のみ教えを人々に伝えられることになり、『教行信証』の執筆にとりかかられました。他力念仏のみ

教えがまとめられた本書は、浄土真宗の根本聖典という意味で『本典』と呼ばれています。そして、その『本典』の記述によつて、その成立を親鸞聖人五十二歳の時、すなわち元仁元年・一二二四年とみて、この年を立教開宗の年と定めています。

仏教は今から約二千五百年前、釈尊が縁起や諸行無常・諸法無我というこの世界のありのままの真実をさとられたことに始まります。翻つて私たちは、この執われのないおさとの真実に気づくことができず、常に自分中心の心で物事を見て、悩み、悲しみ、あるいは他人と争ったりしています。釈尊は、このような私たちがそのままに救い、お

第44号  
(通算384号)

発行元  
浄土真宗本願寺派  
吉富山 浄覚寺  
大阪市平野区  
長吉長原3-1-10  
06-6790-8350

さとの真実へ導こうと願われたのが阿彌陀如来であることとを教えてくださいました。

そして、親鸞聖人は、この阿彌陀如来の願いが、南無阿彌陀仏のお念仏となつてはたらくき続けてくださっていることを明らかにされたのです。

ありのままの真実に基づく阿彌陀如来のお慈悲でありますから、いのちあるものすべてに平等にこそがれ、自己中心的な考え方しかできない煩惱具足の私たちも決して見捨てられることはありません。

その広大な慈悲を思つとき、親鸞聖人が「恥づべし傷むべし」とおっしゃったように、阿彌陀如来のお心とあまりにもかけ離れた私たちの生活を深く慚愧せざるをえません。

しかし、この慚愧の思いは、阿彌陀如来の悲しみを少しでも軽くすることができればと

### 浄覚寺ヨガ教室

- ・12月21日(水) 10時~11時半
- ・参加費500円
- ・浄覚寺本堂にて

☆今年最後のヨガ教室です。ご参加の方には来年のカレンダーをお贈りします。ぜひご参加ください。

いう方向に私たちを動かすでしょう。

それは、阿彌陀如来の願いを一人でも多くの人に伝え、他人の喜び悲しみを自らの喜び悲しみとするような如来のお心にならう生き方であり、また、世の安穩、仏法弘通を願われた親鸞聖人のお心に沿う生活です。み教えに生かされ、いよいよお念仏を喜び、すべてのいのちあるものが、お互いに心を通い合わせて生きていけるような社会の実現に向け、宗門総合振興計画の取り組みを進めながら、来るべき親鸞聖人ご誕生八五〇年ならびに立教開宗八〇〇年の慶讃法要をともに迎えていたしましょう。

二〇一九年一月九日

龍谷門主 釋尊如

もしこの書を見聞せんもの

信順を因とし

疑謗を縁として

信樂を願力に彰し

妙果を安養に顕さんと

親鸞聖人『教行信証 後序』



# 仏教語辞典



## 腕貫うでぬき

手首から肘のあたりまでを保護する竹や籐で編んだ筒状の腕輪で僧侶が着用する。衣が汗でべたつかない効果もある。子どもの頃にロボットごっこをする時に着用するととても気分が良い。

『気になる仏教語辞典』  
著・麻田弘潤 誠文堂新光社  
仏教にまつわる用語をイラストとわかりやすい言葉で読み解かれています。ぜひお買い求めください。

## お願い

住職もその子供たちも卒業・在籍している大阪市立長吉小学校が令和五年度で創立一五〇周年を迎えます。創立記念日は四月十六日ですが、新校舎の増築も行っている関係で、記念式典は来年の十一月に予定しております。また、住職は現役のPTA役員でもありますので、記念事業に向けての実行委員会にも関わっております。色々な担当がある中で、記念品の選定や記念誌の作成を担当させていただくことになりました。



未来に向かっただけのメッセージというように、小学校の過去・現在・未来を記したいと思ひ、資料集めに取りかかっております。そこで、お願いがございます。皆さまのご自宅に昔の長吉小学校の様子が残る写真や資料は残っておりませんか。今は無くなってしまう木造校舎の写真や、昔使われていた教科書やノートなど。また、その時代の様子がわかるエピソードなどがあれば、聞かせていただくと助かります。もしよければ記念誌に使わせていただいたり、参考にさせていただきます。お願いいたします。

「御文章に聞く」はお休みさせていただきます。

## 編集後記

今月も「じゅごう」をお届け致します。表面には「親鸞聖人御誕生八五〇年・立教開宗八〇〇年慶讃法要」についての御消息を載せさせてもらいました。御消息とは御門主さまからのメッセージです。当山でも明年四月の報恩講法要と併修してお勤めさせていただこうと考えております。

先日、本堂が完成したときに勤める落成慶讃法要にリレー法話で出講させていただきました。そのお寺のご住職もご法話されましたが、ご縁が整い自分まで仏教(私の成仏道)が受け継がれてきた。新しくなった本堂でこれからも伝え続けていきたいと思います。本堂は仏法を聞き、仏法が伝わっていくところであると再確認させていただきました。(釋法道)

## 行事案内

日時・十二月十八日(日) 十三時〜十六時  
行事・浄覚寺こども会 冬のしじい  
場所・長原 浄覚寺 詳細は別紙にて

(なお、当日のお参りはお休みをさせていただきます)



令和五年一月一日(祝) 十四時より

元日会 法話 新發田恵司 先生